

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2029年4月20日まで（2013年12月16日設定）	
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。
	マザーファンド	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン （年1回決算型）

愛称：花こよみ年1

第10期（決算日：2023年4月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）」は、去る4月20日に第10期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			(参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税込み	み	期騰落	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	期騰落			
	円	円	%			%	%	%	百万円
6期(2019年4月22日)	11,232	0	5.7	459.63		2.5	98.2	—	11,418
7期(2020年4月20日)	11,941	0	6.3	475.93		3.5	97.6	—	11,298
8期(2021年4月20日)	13,323	0	11.6	498.62		4.8	97.7	—	15,573
9期(2022年4月20日)	13,678	0	2.7	520.19		4.3	97.1	—	17,785
10期(2023年4月20日)	12,506	0	△ 8.6	513.08		△1.4	98.1	—	16,477

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		（ 参 考 指 数 ）		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2022年4月20日	円 13,678	% —	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース) 520.19	% —	% 97.1	% —
4月末	13,202	△ 3.5	514.17	△1.2	97.6	—
5月末	13,155	△ 3.8	512.00	△1.6	97.4	—
6月末	13,059	△ 4.5	527.33	1.4	97.6	—
7月末	13,502	△ 1.3	528.62	1.6	98.1	—
8月末	13,249	△ 3.1	523.32	0.6	97.5	—
9月末	12,808	△ 6.4	516.03	△0.8	97.8	—
10月末	13,180	△ 3.6	531.09	2.1	97.0	—
11月末	12,718	△ 7.0	516.24	△0.8	98.2	—
12月末	12,147	△11.2	494.38	△5.0	97.1	—
2023年1月末	12,286	△10.2	498.37	△4.2	97.4	—
2月末	12,348	△ 9.7	503.37	△3.2	97.8	—
3月末	12,464	△ 8.9	507.64	△2.4	97.8	—
(期末) 2023年4月20日	12,506	△ 8.6	513.08	△1.4	98.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第10期：2022年4月21日～2023年4月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第10期首	13,678円
第10期末	12,506円
既払分配金	0円
騰落率	-8.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.6%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや投資した期間において米国の長期金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

投資した期間において、米ドルが対円で一時的に下落したことや、オーストラリアとニュージーランドの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

▶ 債券市況

米国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの長期金利は上昇しました。

米国をはじめとする主要先進国でインフレの加速が見られ、中央銀行が利上げを実施したことなどを背景に、米国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの長期金利は上昇しました。

▶ 為替市況

米ドル、シンガポールドルは対円で上昇した一方、豪ドル、ニュージーランドドルは対円で下落しました。

米国の消費者物価指数（CPI）の前年比の伸びが市場予想を上回ったことを受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを継続したことなどから、米ドル、米ドルと比較的連動して推移する傾向にあるシンガポールドルは対円で上昇しました。一方、欧米の金融システム不安により投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、豪ドル、ニュージーランドドルは、対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド 投資国

2022年5月までは、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの3カ国で運用しました。6月にシンガポールを除外し、オーストラリアに入れ替え、

11月にオーストラリアを除外し、米国に入れ替え、その後は米国、ニュージーランドの2カ国で運用しました。

通貨

相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、期間の初めから2022年10月までは豪州、11月以降は米国へ重点配分しました。

金利

残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

組入比率

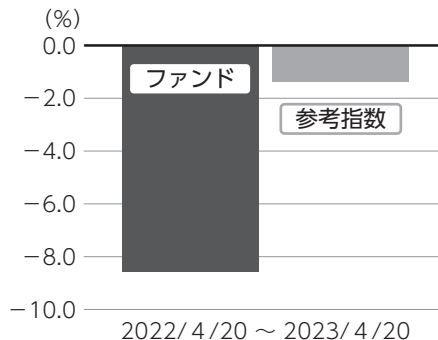
期間を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はF T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第10期 2022年4月21日～2023年4月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,944

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

▶三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

投資国

世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投

資する方針です。

通貨

相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

金利

ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

2022年4月21日～2023年4月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	155	1.210	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(77)	(0.605)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(70)	(0.550)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.028	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.024)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	159	1.238	

期中の平均基準価額は、12,801円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

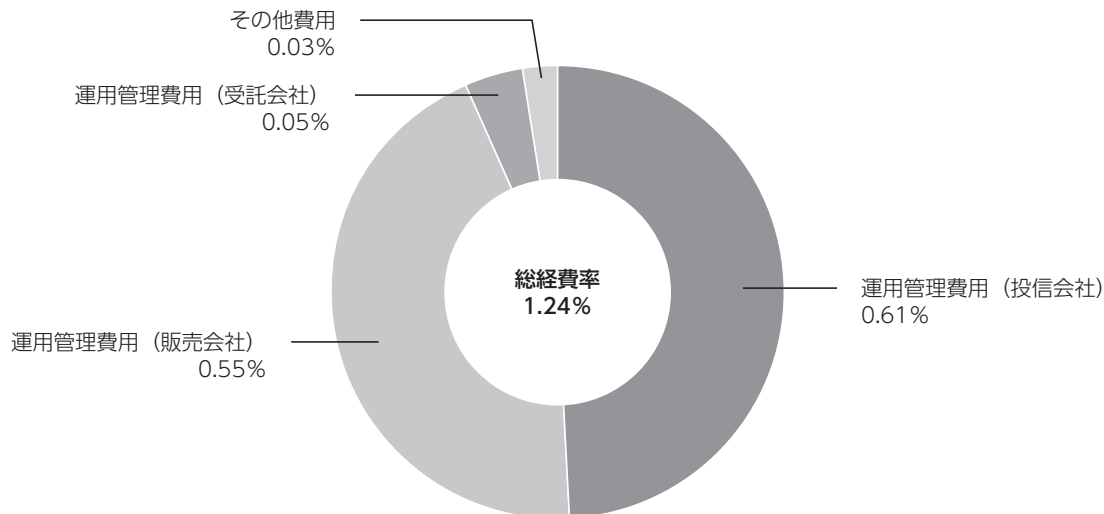
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.24%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月21日～2023年4月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 279,289	千円 779,070	千口 272,235	千円 778,566

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月21日～2023年4月20日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）>

該当事項はございません。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 162,576	百万円 88,672	% 54.5	百万円 172,923	百万円 71,065	% 41.1

平均保有割合 10.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年4月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	評価額	口数	評価額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 5,982,390	千円 16,436,834	千口 5,989,445	千円 16,436,834

○投資信託財産の構成

(2023年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 16,436,834	% 99.1
コール・ローン等、その他	147,861	0.9
投資信託財産総額	16,584,695	100.0

(注) 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（148,879,021千円）の投資信託財産総額（149,314,519千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=134.92円	1 ニュージーランドドル=83.16円	
------------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年4月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,584,695,580
コール・ローン等	145,511,386
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド(評価額)	16,436,834,797
未収入金	2,349,397
(B) 負債	107,683,517
未払解約金	8,918,010
未払信託報酬	98,443,338
未払利息	49
その他未払費用	322,120
(C) 純資産総額(A - B)	16,477,012,063
元本	13,175,348,832
次期繰越損益金	3,301,663,231
(D) 受益権総口数	13,175,348,832口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,506円

<注記事項>

- ①期首元本額 13,002,865,979円
 期中追加設定元本額 1,356,827,775円
 期中一部解約元本額 1,184,344,922円
 また、1口当たり純資産額は、期末12,506円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年4月21日～ 2023年4月20日
費用控除後の配当等収益額	298,773,838円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	2,973,085,382円
分配準備積立金額	1,924,856,211円
当ファンドの分配対象収益額	5,196,715,431円
1万口当たり収益分配対象額	3,944円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況（2022年4月21日～2023年4月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 31,296
受取利息	548
支払利息	△ 31,844
(B) 有価証券売買損益	△1,235,043,118
売買益	63,589,517
売買損	△1,298,632,635
(C) 信託報酬等	△ 201,940,456
(D) 当期損益金(A + B + C)	△1,437,014,870
(E) 前期繰越損益金	1,924,856,211
(F) 追加信託差損益金	2,813,821,890
(配当等相当額)	(2,970,715,912)
(売買損益相当額)	(△ 156,894,022)
(G) 計(D + E + F)	3,301,663,231
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	3,301,663,231
追加信託差損益金	2,813,821,890
(配当等相当額)	(2,973,085,382)
(売買損益相当額)	(△ 159,263,492)
分配準備積立金	2,223,630,049
繰越損益金	△1,735,788,708

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

《第20期》決算日2023年4月20日

[計算期間：2022年4月21日～2023年4月20日]

「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」は、4月20日に第20期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。投資対象候補国は、国債の信用力、債券市場や外国為替市場の規模等を勘案して委託会社が決定します。投資対象候補国の中から、相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分することを基本とします。判断の基準としては、FTSE世界国債インデックスにおける各国の最終利回りとします。ポートフォリオの構築は国別に行うこととし、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主要運用対象	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		債組入比率	債先物比率	純資産額
	期騰落	中率	FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)	期騰落			
16期(2019年4月22日)	円	%			%	%	百万円
16期(2019年4月22日)	23,472	7.0	459.63	2.5	98.4	—	203,832
17期(2020年4月20日)	25,258	7.6	475.93	3.5	97.8	—	182,121
18期(2021年4月20日)	28,538	13.0	498.62	4.8	97.9	—	183,125
19期(2022年4月20日)	29,658	3.9	520.19	4.3	97.3	—	172,143
20期(2023年4月20日)	27,443	△7.5	513.08	△1.4	98.3	—	148,981

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	FTSE 世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2022年 4 月 20 日	29,658	—	520.19	—	97.3	—
4 月 末	28,632	△ 3.5	514.17	△1.2	97.8	—
5 月 末	28,560	△ 3.7	512.00	△1.6	97.7	—
6 月 末	28,381	△ 4.3	527.33	1.4	97.9	—
7 月 末	29,375	△ 1.0	528.62	1.6	98.3	—
8 月 末	28,853	△ 2.7	523.32	0.6	97.7	—
9 月 末	27,918	△ 5.9	516.03	△0.8	98.0	—
10 月 末	28,762	△ 3.0	531.09	2.1	97.3	—
11 月 末	27,779	△ 6.3	516.24	△0.8	98.4	—
12 月 末	26,555	△10.5	494.38	△5.0	97.3	—
2023年 1 月 末	26,889	△ 9.3	498.37	△4.2	97.6	—
2 月 末	27,050	△ 8.8	503.37	△3.2	98.0	—
3 月 末	27,332	△ 7.8	507.64	△2.4	98.0	—
(期 末) 2023年 4 月 20 日	27,443	△ 7.5	513.08	△1.4	98.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

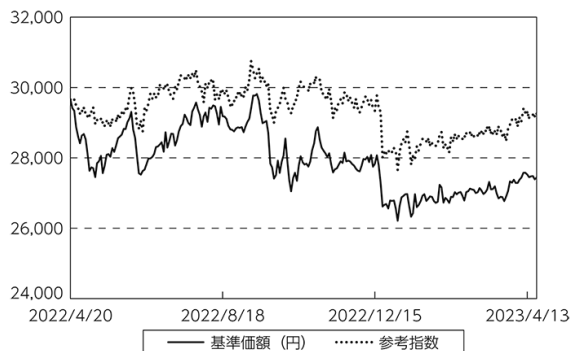
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.5%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや投資した期間において米国の長期金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

投資した期間において、米ドルが対円で一時的に下落したことや、オーストラリアとニュージーランドの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について

◎ 債券市況

- ・ 米国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの長期金利は上昇しました。
米国をはじめとする主要先進国でインフレの加速が見られ、中央銀行が利上げを実施したことなどを背景に、米国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの長期金利は上昇しました。

◎ 為替市況

- ・ 米ドル、シンガポールドルは対円で上昇した一方、豪ドル、ニュージーランドドルは対円で下落しました。
米国の消費者物価指数（CPI）の前年比の伸びが市場予想を上回ったことを受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを継続したことなどから、米ドル、米ドルと比較的連動して推移する傾向にあるシンガポールドルは対円で上昇しました。一方、欧米の金融システム不安により投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、豪ドル、ニュージーランドドルは、対円で下落しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

(投資国)

- ・ 2022年5月までは、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの3カ国で運用しました。6月にシンガポールを除外し、オーストラリアに入れ替え、11月にオーストラリアを除外し、米国に入れ替え、その後は米国、ニュージーランドの2カ国で運用しました。

(通貨)

- ・ 相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、期間の初めから2022年10月まではオーストラリア、11月以降は米国へ重点配分しました。

(金利)

- ・ 残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・ 期間を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

○ 今後の運用方針

(投資国)

- ・ 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

(通貨)

- ・ 相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

(金利)

- ・ ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年4月21日～2023年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.024)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	7	0.024	
期中の平均基準価額は、27,923円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月21日～2023年4月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル	千アメリカドル
			790,769	44,371
	オーストラリア	国債証券 特殊債券	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
478,869			1,023,716	
国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
			107,716	141,145
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル	千シンガポールドル
			—	509,500

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月21日～2023年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 162,576	百万円 88,672	54.5	百万円 172,923	百万円 71,065	41.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年4月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 790,000	千アメリカドル 765,270	千円 103,250,349	% 69.3	% —	% 34.9	% 19.6	% 14.8
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 581,000	千ニュージーランドドル 519,926	43,237,081	29.0	—	18.8	5.4	4.8
合 計	—	—	146,487,430	98.3	—	53.7	25.0	19.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 期 末			償還年月日
			額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券					
	2 T-NOTE 261115	2.0	70,000	65,614	8,852,649	2026/11/15
	2.75 T-NOTE 320815	2.75	80,000	74,637	10,070,091	2032/8/15
	3 T-BOND 520815	3.0	50,000	42,968	5,797,343	2052/8/15
	3 T-NOTE 240630	3.0	75,000	73,500	9,916,620	2024/6/30
	3.25 T-BOND 420515	3.25	30,000	27,328	3,687,110	2042/5/15
	3.25 T-NOTE 290630	3.25	70,000	68,208	9,202,756	2029/6/30
	3.375 T-BOND 420815	3.375	65,000	60,216	8,124,397	2042/8/15
	3.875 T-NOTE 290930	3.875	80,000	80,792	10,900,481	2029/9/30
	4 T-BOND 521115	4.0	10,000	10,392	1,402,113	2052/11/15
	4.125 T-NOTE 270930	4.125	70,000	70,926	9,569,464	2027/9/30
	4.125 T-NOTE 321115	4.125	20,000	20,825	2,809,709	2032/11/15
	4.25 T-NOTE 240930	4.25	90,000	89,590	12,087,540	2024/9/30
	4.25 T-NOTE 251015	4.25	80,000	80,270	10,830,070	2025/10/15
小	計				103,250,349	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券					
	0.25 NZ GOVT 280515	0.25	40,000	32,703	2,719,589	2028/5/15
	0.5 NZ GOVT 240515	0.5	40,000	38,058	3,164,921	2024/5/15
	0.5 NZ GOVT 260515	0.5	20,000	17,741	1,475,388	2026/5/15
	1.5 NZ GOVT 310515	1.5	40,000	32,469	2,700,167	2031/5/15
	1.75 NZ GOVT 410515	1.75	40,000	26,572	2,209,739	2041/5/15
	2 NZ GOVT 320515	2.0	40,000	33,192	2,760,275	2032/5/15
	2.75 NZ GOVT 250415	2.75	50,000	48,084	3,998,704	2025/4/15
	2.75 NZ GOVT 370415	2.75	55,000	45,533	3,786,548	2037/4/15
	3 NZ GOVT 290420	3.0	60,000	55,922	4,650,513	2029/4/20
	3.5 NZ GOVT 330414	3.5	80,000	74,896	6,228,377	2033/4/14
	4.25 NZ GOVT 340515	4.25	17,000	16,899	1,405,357	2034/5/15
	4.5 NZ GOVT 270415	4.5	60,000	60,298	5,014,401	2027/4/15
	4.5 NZ GOVT 300515	4.5	19,000	19,228	1,599,077	2030/5/15
	特殊債券					
	1.75 IADB 260825	1.75	10,000	8,999	748,429	2026/8/25
	3 IADB 270223	3.0	10,000	9,326	775,589	2027/2/23
小	計				43,237,081	
合	計				146,487,430	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2023年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 146,487,430	% 98.1
コール・ローン等、その他	2,827,089	1.9
投資信託財産総額	149,314,519	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(148,879,021千円)の投資信託財産総額(149,314,519千円)に対する比率は99.7%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=134.92円	1 ニューゼalandドル=83.16円	
------------------	----------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年4月20日現在)

○損益の状況 (2022年4月21日～2023年4月20日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	149,314,519,630
コール・ローン等	1,980,837,223
公社債(評価額)	146,487,430,813
未収利息	788,714,618
前払費用	57,536,976
(B) 負債	333,408,806
未払解約金	333,408,660
未払利息	146
(C) 純資産総額(A-B)	148,981,110,824
元本	54,287,266,836
次期繰越損益金	94,693,843,988
(D) 受益権総口数	54,287,266,836口
1万口当たり基準価額(C/D)	27,443円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,677,623,435
受取利息	4,678,087,282
支払利息	△ 463,847
(B) 有価証券売買損益	△ 17,135,778,050
売買益	3,123,690,526
売買損	△ 20,259,468,576
(C) 保管費用等	△ 37,674,243
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,495,828,858
(E) 前期繰越損益金	114,099,827,185
(F) 追加信託差損益金	2,560,561,641
(G) 解約差損益金	△ 9,470,715,980
(H) 計(D+E+F+G)	94,693,843,988
次期繰越損益金(H)	94,693,843,988

<注記事項>

- ①期首元本額 58,043,227,001円
期中追加設定元本額 1,482,499,385円
期中一部解約元本額 5,238,459,550円
また、1口当たり純資産額は、期末2.7443円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	31,493,464,251円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)	14,355,381,420円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	5,989,445,322円
MUAM グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家転売制限付)	2,131,681,069円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)	201,664,850円
外国債券アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	115,629,924円
合計	54,287,266,836円

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

- ①ベビーファンドの運用効率向上のため、追加信託・一部解約時の価額を、当日の基準価額から前営業日の基準価額に変更するため、信託約款に所要の変更を行いました。

(2023年3月10日)

- ②三菱UFJ 国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJ アセットマネジメント株式会社に変更します。